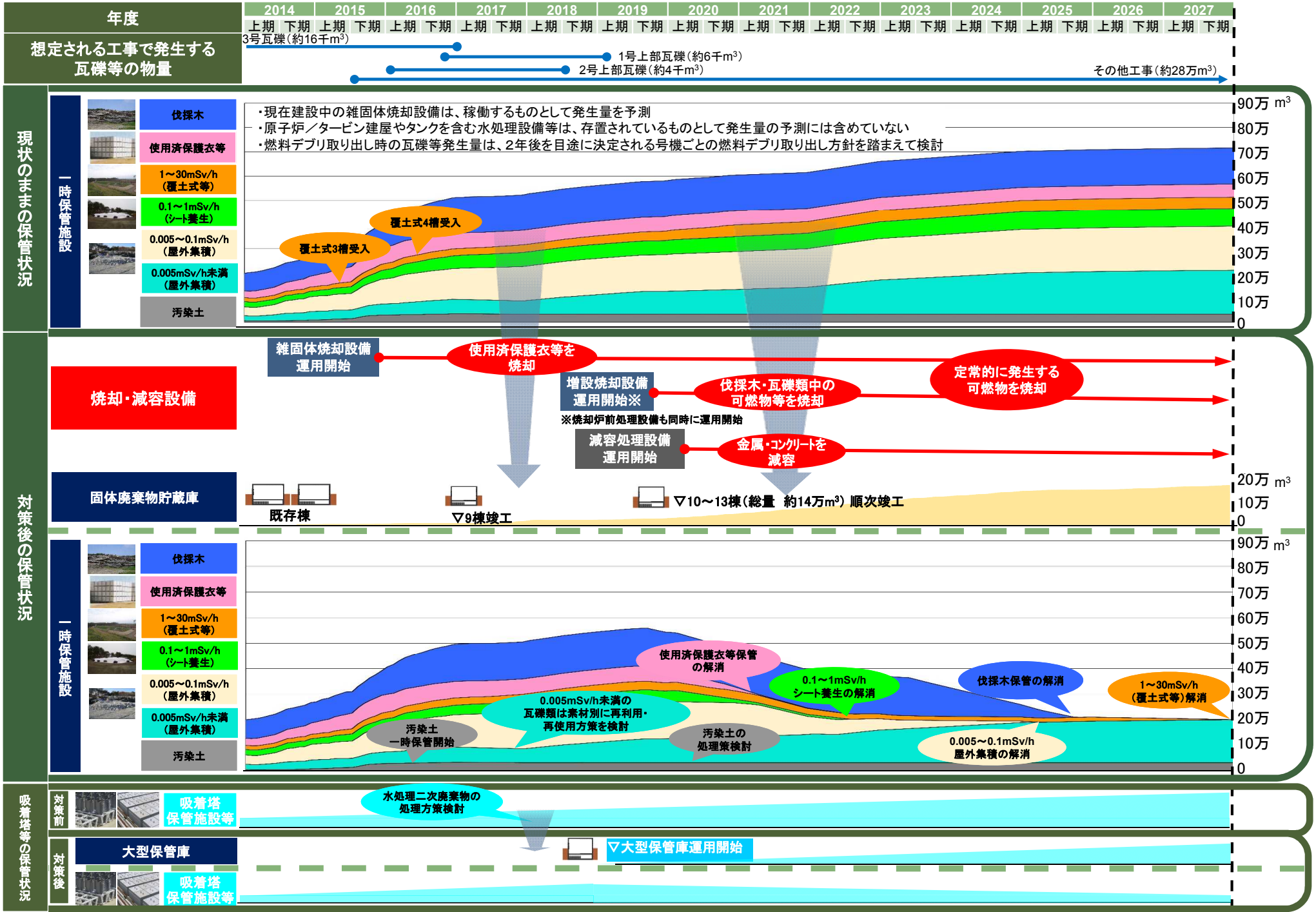
東京電力（株）福島第一原子力発電所の瓦礫等保管のイメージ

特定原子力施設
放射性廃棄物規制検討会
（第1回）
資料3－2

・敷地境界線量への影響が高い瓦礫等から優先的に建屋内保管に移行
・可能な限り、可燃物は焼却、金属・コンクリートは減容処理した上で、建屋内に保管
・今後の廃炉作業の進捗状況や瓦礫等発生量の将来予測の見直し等を、適宜反映していく